

1. 基本情報	
留学先大学	ブレラ美術学院(イタリア)
協定留学プログラム	1年(2セメスター)
留学期間	2023年2月~2024年3月
名前	M・Kさん
学部・学科・専攻	大学院美術研究科美術専攻博士前期課程
留学した時の学年	2年次

2. 渡航前手続きについて(留学ビザ)	
ビザの種類	ナショナルビザD
申請先	イタリア大使館
ビザ取得所要日数 (申請してから何日/週要したか)	3週間
ビザ取得費用	不明
必要書類	パスポート、英文残高証明書、英文海外両行保険証書、住民票 他下部記載
具体的な申し込み手順を、以下へ明記お願いします。	
上記以外に写真、イタリアでの住居書類、UNIVERSITALY 申請証明、在学証明書、協定留学書のコピーが必要。 UNIVERSITALY は協定留学でも必要なため申請必須。相手の大学の返事を待つ必要があるので早めに行うといい。	
ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接があった方は、どのような質問を受けましたか。	
特になし。	
ビザ取得に関して困った点・注意点について、以下へ明記お願いします。	
予約は取りにくい、特に9月渡航者は込み合うので注意。 人によって対応が大きく異なるが、最近は対応が比較的優しいという話を聞く。 問題はビザよりも渡航後の滞在許可。イタリアに3か月以上いるのであればビザのほかにも現地での滞在許可が必要。	

2. 渡航について	
利用航空会社	エディハド空港
航空券手配方法	HIS
大学の最寄り空港名	マルペンサ、もしくはリナーテ
現地到着時刻	午前7時
キャンパスへの移動手段	電車またはタクシー
移動所要時間	約2時間
空港からキャンパスへの移動の際の注意点などありましたら、以下へ明記お願いします。	
リナーテから市内は地下鉄で楽に移動できる。マルペンサも最初は分からずタクシーを呼んだが、特急やバスがあるためそれらでも十分に移動可能。町中の駅は階段しかない場合も多いので注意。	
渡航前に済ませておくべき準備などありましたら、以下へ明記お願いします。	

滞在許可について、ビザ取得時点では銀行の残高証明は英語表記であれば受諾されるが現地ではユーロ建てでないを受託されない場合がある、これ以外でも対応した職員によって対応が異なり、絶対に大丈夫な方法が存在しないのが難点である。  
 銀行残高、保険の二つは突っ込まれやすいので注意しておくことが必要だろう。

### 3. 住居について

住居タイプ	シェアアパート(6人)
到着後すぐに居住入居できましたか?	はい
部屋のタイプ	1人部屋
住居を探した方法	Howsinganywhere
住居申し込み方法	上記のホームページより契約
1カ月の宿舍費(現地通貨)	750€
注意点やアドバイスがあれば、以下へ明記をお願いします。	
夏はかなり熱くなるため、夏の間も現地に滞在する予定ならエアコンは必要だろう。ない家も多いがかなり苦しい。	

### 4. 留学先オリエンテーションについて

オリエンテーション有無	なし
日程	
参加必須ですか?	

### 5. 授業について

履修登録はいつどのような形で行いましたか?	到着後現地の留学センターにて
履修科目・単位数は?	前期4科目、後期2科目
ボリューム的にどうでしたか?	ちょうどよかった

### 6. 履修科目詳細 ※履修した授業すべて記載してください。

履修学科名	Sculrura(一年目)	
①履修科目コース名	Sculrura	
授業時間	5時間	
授業回数(週)	週3回	
単位数	6	
授業内容・課題・試験について	自分のやりたい制作を先生と相談しながら行っていくスタイル。 教室での授業のみでなく、学外の展示にクラスみんなで遊びに行くこともあった。 試験は口頭試験、指定された作家についての研究と自分のポートフォリオを持ち込む。	
成果物の写真 2点以上を張り付けてください。		

# 協定海外留学レポート

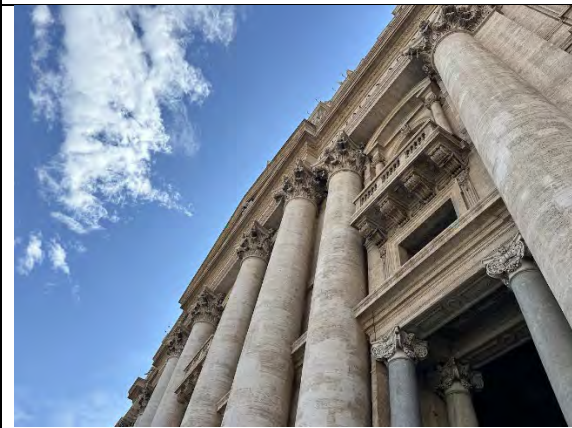
Joshibi University of Art and Design

②履修科目コース名	Tecniche di fonderia	
授業時間	5 時間	
授業回数(週)	週 3 日	
単位数	6	
授業内容・課題・試験について	ブロンズ鑄造のテクニックを学ぶ、テーマは自由。ワックスの調合から学べたのが面白かった。大学に鑄造工房はないので郊外の工房に依頼。工房見学にも行った。試験は口頭試験、自分の作品について説明する。	
成果物の写真 2点以上を張り付けてください。		
③履修科目コース名	Tecniche del marmo e delle pietre dure	
授業時間	5 時間	
授業回数(週)	週 3 日	
単位数	9	
授業内容・課題・試験について	大理石はミラノ郊外の工房で廃棄される予定のものをもらうことができた。機械の数が限られており、早くに行かないと場所がなくなることもあったが、日本では触りにくい大理石に触れることができとても面白かった。試験は口頭試験、自分の使った大理石についてと、大理石を使用している作家についての研究。	
成果物の写真 2点以上を張り付けてください。		
③履修科目コース名	Sculrura(2 学期目)	
授業時間	5 時間	
授業回数(週)	週三回	
単位数	6	
授業内容・課題・試験について	前期と同じく自分のやりたいことを先生と相談して進めていくスタイル。教授が変わり、前回より粘土に触る学生が多かった。またより自分の制作意図を言葉で表現することを求められた。試験は口頭試験。ポートフォリオと作品を用意し、先生と作品について話す。	

成果物の写真 2点以上を張り付け てください。		
③履修科目コース名	Elementi di iconologia e iconografia	
授業時間	3 時間	
授業回数(週)	週 2 日	
単位数		
授業内容・課題・試験 について	図像学、すべてイタリア語で授業時間も長く大変だったが興味深かった。 途中から別の授業とかぶってしまったため一月だけ受講	
成果物の写真 2点以上を張り付け てください。	なし	

<h2>7. 現地情報</h2>
(1)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか？ 【回答例】 キャンパス内では大学の Wi-Fi を問題なく使用できました。キャンパス外では地方に行かない限り使用できました。
キャンパス内 Wi-Fi あり。イタリア国内は比較的電波がよい
(2)現地で携帯電話、スマートフォンの利用手続きはどのようにしましたか？ 【回答例】 SIM カードを渡航前に Amazon で購入しました。
現地にて現地の会社(WINDTRE)でプリペイド式のSIMを契約
(3)現地での支払い方法はどのようにしていましたか？ 【回答例】 主にクレジットカード払い
主にWISEを使用
(4)現地で現金での支払いが必要な時はありましたか？ 【回答例】 はい、友達との食事代支払いの時に使用しました。

マーケットや極めて少額の会計では現金が必要、それ以外は基本クレジットカード。
(5)現地での資金調達はどうに行いましたか？ <b>【回答例】</b> ①クレジットカードを使用して ATM で現金を調達しました。 ②日本から現金を持って行ったので必要ありませんでした。
ATM で引き落とししました
(6)日本から現地通貨の現金を持って行かれましたか？ はいの場合、いくら位持っていかれましたか？ <b>【回答例】</b> はい、£1,000位
いいえ
(7)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。 <b>【回答例】</b> 日本の調味料
日本語の本 ミラノにはお店がない。パリにはある。
<b>8. 留学体験記</b>
(1)留学しようと決めた理由は？
大学一年次に NY 研修に参加してから海外に興味を持った。 大学院進学時に、内部進学をするなら絶対に留学をすると決めていた。
(2)留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備はありましたか？
なお大学の教授は英語を喋れないことも多いのでイタリア語の勉強はしっかりやっておいてよかった。
(3)この協定大学を選んだ理由は？
カトリックの家に生まれたことからカトリックの国に行きたいという気持ちがあった。そのなかで、日本以外の国で大学に彫刻専攻という専攻がある国は少なくなっていると思うが、その中でイタリアはファインアート専攻の中でもではなく、彫刻を専門で学べることに魅力を感じた。
(4)大学・学生の雰囲気はどんな感じでしたか？
みんな仲が良く、留学生でもクラスメイトとして受け入れてもらった。 年齢もまちまちで高校出たての子から社会人を経験してから学びなおしに来ている人も多くいたがみんなクラスの一員として仲が良く雰囲気が良かった。
(5)交友関係についてお聞かせください。
イタリア人のみでなく、たくさんの留学生と知り合いヨーロッパを中心に様々な国の友達ができた。
(6)困ったこと、大変だったことがあればお聞かせください。
生活での不便は少なからずあったが、周りの人に助けられて問題なく生活できた。
(7)現地での学習内容・勉強についてお聞かせください。
実技をメインに受講したが、日本とは異なり自分のやりたいこと学びたいことを自ら学びに行くスタイル。 自分のやりたいことをしっかりと持っていることが大切だと感じた。同じクラスでもみんなやっていることが違うので刺激になる。
(8)海外生活の中で気がついたことなどあればお聞かせください。
(9)海外生活の中で印象深いこと(風景、人、モノなど)を写真で紹介してください。4 点以上



1. 基本情報	
留学先大学	ブレラ美術学院(イタリア)
協定留学プログラム	1セメスター
留学期間	2024年9月~2025年3月
名前	K・Kさん
学部・学科・専攻	芸術学部 美術学科 洋画専攻
留学した時の学年	3年次

2. 渡航前手続きについて(留学ビザ)	
ビザの種類	Students Visa
申請先	イタリア大使館
ビザ取得所要日数 (申請してから何日/週要したか)	約3週間
ビザ取得費用	無料
必要書類	パスポート、英文残高証明書、英文海外両行保険証書、住民票
具体的な申し込み手順を、以下へ明記お願いします。	
大使館のウェブサイトから書類をダウンロード→必要書類を集める→大使館の予約をとり書類を提出→指定日にVISAの受け取り	
ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接があった方は、どのような質問を受けましたか。	
面接はありませんでした。	
ビザ取得に関して困った点・注意点について、以下へ明記お願いします。	
大使館に書類を提出する際には予約が必要かと思いますが、時期によって大使館の予約が取りづらい場合があります。公式サイトからなかなか予約が取れない場合は電話もしくはメールにて直接大使館に問い合わせることをお勧めします。	

2. 渡航について	
利用航空会社	ルフトハンザ
航空券手配方法	ウェブサイト
大学の最寄り空港名	リナーテ空港
現地到着時刻	午前7時
キャンパスへの移動手段	メトロ
移動所要時間	約30分
キャンパスへの移動の際の注意点などありましたら、以下へ明記お願いします。	
移動にはおそらくメトロやトラムといった交通機関を使うことになるかと思うので、念の為にスリ対策を万全にしておくことをお勧めします。	
渡航前に済ませておくべき準備などありましたら、以下へ明記お願いします。	
現地に到着次第、滞在許可書を申請する必要があるため、必要書類はあらかじめ日本でなるべく取り揃えておく方が良いと思います。また、Codice Fiscale(税務番号)の登録を済ませておくこともお勧めします。(大使館に申請メールを送るとすぐに発行してもらうことができます)	

3. 住居について	
住居タイプ	シェアハウス
到着後すぐに居住入居できましたか？	はい
部屋のタイプ	1人部屋(フラットメイト4人)
住居を探した方法	大学からの案内
住居申し込み方法	大学からの案内に従って Housinganywhere より申し込み

1カ月の宿舍費（現地通貨）	830€
注意点やアドバイスがあれば、以下へ明記をお願いします。	
一人部屋の確保と家具、光熱費込みのアパートを選ぶことをお勧めします。	

#### 4. 留学先オリエンテーションについて


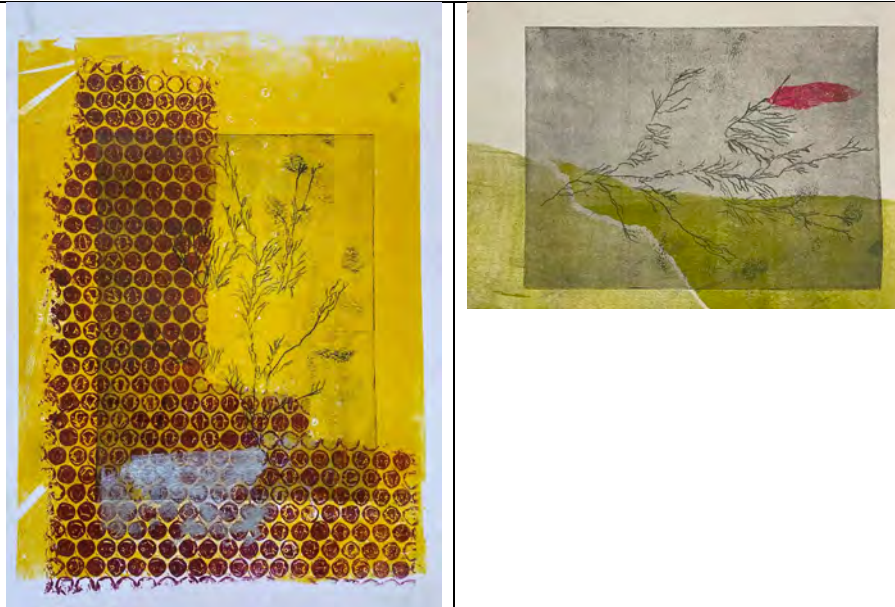
オリエンテーション有無	ありました
日程	2024年10月14日から
参加必須ですか？	必須ではありませんが、教授から直接授業内容について話を伺ったり、ポートフォリオを見せたりすることができるので、参加することをお勧めします。

#### 5. 授業について

履修登録はいつどのような形で行いましたか？	到着後に現地の国際センターにて
履修科目・単位数は？	科目26単位
ボリューム的にどうでしたか？	ちょうどよかったです

#### 6. 履修科目詳細 ※履修した授業すべて記載してください。

履修学科名	Pittura	
① 履修科目コース名	Tecniche Pittoriche	
授業時間	150時間	
授業回数(週)	3回	
単位数	9	
授業内容・課題・試験について	本授業は「視覚と表現の関係に関する探求」「技術的な実験と研究」「現代との対話」という3段階で構成されており、「材料」の観点からセオリーと実験的なプロセスを通して自身の作品の表現方法を探求します。教授との対話を通してテーマを設定し、そのテーマをもとに作品を制作します。制作したうち10枚の作品を提出し、作品の完成度と授業態度が評価の対象となります。	
成果物の写真 2点以上を張り付けてください。		
② 履修科目コース名	Pittura	
授業時間	300時間	
授業回数(週)	3回	
単位数	9	
授業内容・課題・試験について	自ら作品のテーマを設定し、教授と相談しながらその方向性を定めて制作を進めます。授業では、作品のテーマ性に重点を置き、理論と実践の2つの面から学びます。授業内での制作、作品の講評、そして学内展示を通して、総合的に評価されます。	

<p>成果物の写真 2点以上を張り付けてください。</p>	
<p>③ 履修科目コース名</p>	<p>Tecniche dell' incisione calcografica</p>
<p>授業時間</p>	<p>150 時間</p>
<p>授業回数(週)</p>	<p>3 回</p>
<p>単位数</p>	<p>6</p>
<p>授業内容・課題・試験について</p>	<p>教授との対話を通して作品のテーマを設定し、そのテーマに基づいて制作を進めます。実験的なアプローチを通じて、自分自身の作品の表現方法を探求します。本 Semester 中に制作した作品の完成度と授業へ取り組む姿勢に基づいて評価されます。</p>
<p>成果物の写真 2点以上を張り付けてください。</p>	
<p>④ 履修科目コース名</p>	<p>Lingua Italiana</p>
<p>授業時間</p>	<p>75 時間</p>
<p>授業回数(週)</p>	<p>1 回</p>
<p>単位数</p>	<p>2</p>
<p>授業内容・課題・試験について</p>	<p>本授業では、文法的な知識や文化の紹介を中心とした座学型の講義が展開されます。試験では、グループごとにテーマを設定し、それに基づいたプレゼンテーションを行います。評価は、プレゼンテーションの内容と成熟度、さらに授業への取り組み姿勢などを総合的に見て評価されます。</p>

7. 現地情報	
(1)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか？	【回答例】 キャンパス内では大学の Wi-Fi を問題なく使用できました。キャンパス外では地方に行かない限り使用できました。
キャンパス内では学校の Wi-Fi を使用し、それ以外の場所では渡航前に事前に購入していた eSIM を使用しました。	
(2)現地で携帯電話、スマートフォンの利用手続きはどのようにしましたか？	【回答例】 SIM カードを渡航前に Amazon で購入しました。
eSIM(ソラコムモバイル)を購入し現地で使用しましたが、ネット接続が不安定になる場合が多々あったため、現地で SIM カードを購入することをお勧めします。	
(3)現地での支払い方法はどのようにしていましたか？	【回答例】 主にクレジットカード払い
主にクレジットカード払いです。	
(4)現地で現金での支払いが必要な時はありましたか？	【回答例】 はい、友達との食事代支払いの時に使用しました。
滞在許可証の申請用の収入印紙をタバッキにて購入した際に使用しました。	
(5)現地での資金調達はどうに行いましたか？	【回答例】 ①クレジットカードを使用して ATM で現金を調達しました。 ②日本から現金を持って行ったので必要ありませんでした。
日本から持参した現金のみで賄いました。	
(6)日本から現地通貨の現金を持って行かれましたか？ はいの場合、いくら位持っていかれましたか？	【回答例】 はい、£1,000位
400~500€ほど持っていきました。	
(7)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。	【回答例】 日本の調味料
ポータブルコピー機、虫よけスプレー	
8. 留学体験記	
(1)留学しようと決めた理由は？	イタリアの美術学校で学び、実際にその土地で生活することによって、現地でしか出会えない芸術作品や文化に触れ、インスピレーションを得て自分の制作に活かしたいと考えたからです。また、将来的に海外でも活動の場を広げていけるよう、在学中に国際的なキャリアの基盤をつくりたいと思ったことも、留学を決めた理由のひとつです。
(2)留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備はありましたか？	留学前にイタリア語を1年ほど勉強しました。現地で生活をしているうちに徐々に耳が慣れていきますが、留学前にもう少し言語理解能力(特にリスニング力)を鍛えておきたかったです。
(3)この協定大学を選んだ理由は？	学部2年次にブレラ美術学院の先生とお会いしたことをきっかけに、イタリアという国に強い関心を抱きました。また、西洋の長い歴史の中で変化していった絵画史の流れを自分の目で見て肌で感じたいという思いがあったため、西洋絵画の文化的中心地であるイタリアの協定大学を志望しました。
(4)大学・学生の雰囲気はどんな感じでしたか？	学校内は非常に開放的で、学生たちの自由な雰囲気が印象的でした。個性や表現の自由が尊重されており、歴史的な背景と現代的な感性が共存する環境の中で、多くのインスピレーションを得ることができました。
(5)交友関係についてお聞かせください。	Erasmus というヨーロッパ圏内の留学プログラムを利用している学生が多く、生徒間の交流は非常に活発な印象を受けました。正規の留学生も多く受け入れており、年齢や国籍の異なるさまざまな学生と交流を深めることができました。

**(6) 困ったこと、大変だったことがあればお聞かせください。**

渡航直後は現地の言語でコミュニケーションを取るのが困難でした。また、日本の大学システムと異なる部分が多かったため、現地の大学システムに慣れるのに少々時間がかかりました。

**(7) 現地での学習内容・勉強についてお聞かせください。**

この半年間は伸び伸びと自分の表現を探ることができ、貴重な時間となったと感じます。短い期間ではありましたが、学校や美術館をはじめ、日常生活の中で多くの美意識に触れたことでたくさんのインスピレーションと学びを吸収することができました。

**(8) 海外生活の中で気がついたことなどあればお聞かせください。**

これまで生活してきた環境とはまったく異なる文化と社会の中で半年間を過ごしたことで、時間に対する意識の違いを肌で実感しました。物事の効率よりも人間関係を大切に、自由でゆったりとした空気の中で生活をしていくうちに、以前よりも心に余裕が生まれたように感じます。

**(9) 海外生活の中で印象深いこと(風景、人、モノなど)を写真で紹介してください。4点以上**

